

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0390700029		
法人名	特定非営利活動法人 ファミリーサポート おひさま		
事業所名	グループホーム ひだまり		
所在地	岩手県久慈市栄町32地割37番地9		
自己評価作成日	平成24年1月29日	評価結果市町村受理日	平成24年6月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0390700029&SCD=320&PCD=03
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	(財)岩手県長寿社会振興財団
所在地	岩手県盛岡市本町通3丁目19-1
訪問調査日	平成24年2月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地元の食材を使った旬な食事を提供し、みんなの笑顔で利用者様が日に日に元気になっていく施設であること

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

立地的に、とても日当たりがよく、内部はコンパクトであるが、天井や間取りをシンプルにするなど工夫し、開放感に満ちた空間となっている。床暖房のため常に床を清潔に保ち、外来者もスリッパを使用しない。家庭的な印象で、利用者の顔が明るく、職員対応にも好感が感じられた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができて いる (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価票

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	初期研修での理念呈示と共有、職員の目に付くところに(事務室)掲げ理念に基づいたケアができるよう心掛けている。また事例検討時に理念を意識しながら検討することでおのずと方向性がみえるようにしている	管理者と職員が話し合い、作りあげた理念である。迷ったり、困ったときには全員で理念に基づいて検討し、実践につなげている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の店舗への買い物、なじみの理髪店の利用等敬老会へのお誘い、お祭り、花火大会の観覧。中学生との交流(施設訪問、吹奏楽部演奏、登下校、美術の授業)町内会見学者への施設公開	地域住民が気軽に訪れ、見学したり、相談の場になったりと活用されている。町内会にも加入し会議にも参加したりしている。多く関わりを持てるよう努力している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で出席された町内会長、民生委員の方々に入居されている利用者様の現在の状況、症状等をお伝えし、認知症の方への理解を深めていただく、また町内の方の施設見学時に施設案内とともに地域の方が抱えている自宅での介護の悩みや、認知症の方への関わりについて話をする時間を持っている			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの状況を報告、災害時の自家発電の勧め等意見をいただき、検討している	運営推進会議は、地域からの意見等も積極的に取り入れ、話し合いや検討がなされており、サービス向上に活かされている。震災時にも運営推進会議のメンバーの方の協力を頂いた。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議へ参加いただいている、利用者様の病状を伝え適切な支援が受けられるよう、相談しアドバイスをいただいている	震災、水害などの災害時には、市担当者の支援により切り抜けることが出来た。現在も適切なアドバイスを受け、協力関係を維持・継続している。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し職員がいつでも閲覧できるようにしている 夜間を除き施錠はしない	当初はセンサーを設置していなかったが外部からの侵入の危険があり、現在玄関にセンサーを設置してあるが入居者への影響は特にない。隣接の事業所(小規模)とマニュアルの作成をした。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	理念に基づいたケアにより、虐待はあり得ないが、虐待防止に努めていきたいと思っている			

岩手県 認知症対応型共同生活介護 グループホームひだまり

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護研修会への参加 利用者様の成年後見人との面談のなかで、これからの支援について話し合っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、サービス開始時、十分な説明を行い納得を得られるように努めているが、疑問や不安が生じた場合、いつでもお話をいただけるよう利用者様、家族に声をかけている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族、利用者様からの運営推進会議へ参加いただいている、意見や提案等いただいている また、面談時、家族から、運営に関する意見要望があり、ただいま検討中である	家族からの要望もあり会報発行の予定であるが、どのようにするか検討中である。	毎月1回の連絡を利用するなどして、会報を発行・配布することに期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員配置体制と勤務時間への提案があり、当直終了時間を検討し変更した	管理者との2人体勢の夜勤を組むなどして職員から直接意見を聞くようにしている。朝の申し送り時にミーティングを持っている。現在、人数に余裕がなく、職員を募集している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準は入社時、一律ではあるが、経歴、勤務状況、資格により賃金を引き上げている、各自の能力に合わせた研修等の受講費用、旅費等補助している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の能力に合わせた外部研修会への参加、事例を基にした施設内研修にてスキルアップできるよう、研修会参加の機会を設けている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会からの勉強会や交換研修にて交流する機会を作っている		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約前の面談や、契約時のアセスメントで、ご本人様からの声をより聞く為に身近なことから、お話をお聞きしている。面談等管理者が行い、入所してから同じ顔が見え、なじめるように心がけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前の面談や、アセスメント時なるべく多くのことをお話しいただくため時間をかけ、これからのケアにつなげられるよう心掛けています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始時の聞き取りにより、必要な支援を多機能に対応していきたいと考えています。通院時の車いす対応の送迎と付添介助、法人内のデイサービスへ出向き、他者との交流等を図っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活全般にわたる家事を一緒に行えるように声掛けと雰囲気づくりをしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	心身の状態の変化をその都度、家族にお知らせしている、不穏時の対応を家族と一緒に考えながら、できるだけ関わりを持っていただけるようにしている。通院の付添いも家族の方が対応している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ひとりひとりの生活歴に合わせた支援をしている。子供のころからお参りしていた神社、働いていた場所へのドライブやご本人の希望で自宅の花の種や球根を持ってきて施設の庭に植えたりしている。ご本人との日常の会話の中で情報を拾い集めている	入居者が希望すれば行動できるよう配慮されている。事業所が街中にあるので、人の集まる場所も近く、本人の希望するところに行きやすい環境がある。庭の花壇に色々な花を植えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の人となりの理解に努め、軽作業やレクリエーションで利用者間の距離を縮めていこうと働きかけている、事業所内の行事等にグループホーム全員がチームとして参加することで発表までにみんなで励ましあいながら練習している、発表が終わった後、連帯感が生まれた		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了となった利用者様の葬儀への出席。または、病状悪化に伴い他施設への利用につなげる支援を行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしを続けているうちに希望や意向の把握に努め趣味や散歩等一人一人の生活のペースがつかめるよう心掛けている	日々の記録を充実させ個々の変化を的確に把握し、職員が共有して対応に努めている。	今後も継続をして頂きたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	毎日の談話や面会時、ご家族のお話から情報を収集する、利用者様が自信と楽しみを持った生活ができるよう、スタッフが情報を共有しサービスにつなげる		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式による利用者様の状態の把握とそれについてのケアの方向性を話し合い、職員全体で共通した認識で関わる		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書を作成するうえで、ご本人のアセスメント、家族の思いをふまえ、協力していただける関係者(ケアマネジャー、福祉担当者)の方からの情報と意見をいただき作成している	24時間生活変化ノートを記録し、家庭との連絡にも利用している。短期・長期の介護計画とは別に、現在の身体的変化を見えるようにしてある。	今後も継続していただきたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に記入し、申し送りや事例検討している共通のケアをするために、申し送りノートに記入し、職員全員で把握する		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様の強い希望により、通帳からのお引き出しの付添いを行っている金融機関までの送迎と代筆。冬場の衣類の購入時の付添いを行っている		

岩手県 認知症対応型共同生活介護 グループホームひだまり

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	普段利用している理容店や美容院へ送迎し、終わったら連絡いただいている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	健康状態や心身の状態を記録し、かかりつけ医に報告し、適切な医療が受けられるよう努めている	通院時、家族が対応出来ないことが多く、事業所で対応しているケースが多い。4月以降、契約の見直しをして適切な対応が受けられるよう検討中である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の日々の状態を把握したうえで、処方された薬等に疑問がある場合看護師と相談し、家族に伝え医療機関へ連絡相談している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際、認知症のため訴えが届きにくい、痛いところ、具合が悪いところ、具合が悪い時のサインや不安の緩和方法など家族に伝え、病院でも安心して過ごされるよう努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人と家族の意向で最後までグループホームで過ごしたいとのこと、話し合いを持ち、常時バイタルの変化を細かく(家族に)お知らせし、苦痛を緩和するべく温熱マッサージと不安にならないように付添で対応した	開設間もなく、終末期ケアに直面し、その経験を活かせるよう話し合っている。また、家族等とも連絡を十分取り合い、希望に沿った対応をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の訓練を火災報知器、通報電話機で実際に使用して行った		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の際、避難場所である中学校へ実際に避難した	7月火災訓練実施、地域の協力があり、有意義なものとなったが消防署との連携があまり図られていない。	消防署との連携を図りながら、協力体制を築いていくことに期待したい。

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	施設理念に基づいた尊敬の念を持って関わるよう心掛けている	自分たちで作った理念に誇りをもって行動している。感謝と尊敬の心でケアに当たっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お茶の時間、個々の方の今飲みたいものをお聞きしたり、食事のメニューを立てる際に嗜好をお聞きし、実際献立をたてている、入浴の際も洗身用のタオルを選んでいただいたり何かにつけ選んだもの、好きなものが希望通りとなるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、食事、水分補給、トイレ等は声掛けさせていただくが、就寝は自由となっている 日中の散歩もその方に合わせて対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の整容、髭剃り介助、衣類の交換着替え時ご本人と相談しながら(季節に合ったものを)選択いただいている。理美容は出張利用サービスやなじみの理美容店への送迎、また急に出かける用事が出来た場合のおしゃれのお手伝い(ヘアアレンジ、よそ行きへの着替え介助)している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬な地元の食材を使い、体調や病状に合わせた味付けや形態で提供している、調理する前の食材に見て触れたり、食が楽しみになるよう心がけている、食事の支度時になると、利用者様自ら進んで手伝ってくださったり、片付け時も声掛けにより、職員と一緒に片付けてくださっている	食卓、食器類にも細かな配慮がされていた。献立は作られているが、入居者の希望があれば、状況に合わせて変更したりと、柔軟に対応している。利用者の誕生日には、その方の(食べたいものの)希望を聞いて提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考慮し、利用者様一人一人の病状に配慮した量を提供している、カロリー、咀嚼力等考慮するうえで盛り合わせの見た目がほかの方と差のないよう工夫している。また、午前午後のお茶の時間のほかにも、声掛けし、水分補給していただいたり、夜間お茶を希望される方へ提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケア、介助が必要な方は職員が介助し、ほかの方へは声掛けをさせていただいている。口腔ケアは風邪やその他の疾患の予防になるため、そのことをお伝えし、進んで取り組めるようにしている		

岩手県 認知症対応型共同生活介護 グループホームひだまり

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自宅でオムツを使用していて尿意があまりないと家族からの申し送りであったが、排尿のパターンとトイレの習慣を声掛けにより誘導し、現在尿意取戻し、布パンツとパッドで対応している、トイレでの排泄となっている	家庭的なトイレにし、プライバシーが確保されている。排尿のパターンを記録し、共有している。オムツをしないようにするような取り組みを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材、消化の良い食材、調理方法を提供している。運動不足にならないように個々のペースに合わせて、何気なく運動していた		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個別に入浴したい時間帯をお聞きしている、曜日は決まっているが、個々の状態や希望、行事(節句)などの時は入浴していただく	入居者は、入浴を楽しんでいる様子であり、職員も個々に沿った支援をしている。入浴日には個別に時間を決め、介助に当たっている。特浴利用時には隣接の「小規模多機能ホームひなたぼっこ」を利用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	足が冷えるとおっしゃる方の湯たんぽや天候を見ての布団干し介助、シーツ交換等気持ちよく休むことができるように心がけている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のお薬情報を確認できるようファイルに綴じている、症状の変化により看護師と相談のうえ、自然に排便がある方への下剤の有無等支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いをお願いしたり、自発的にしていただいたり、作業を行うことで役割を持ち、張り合いのある暮らしができるよう取り組んでいる、また季節の貼り絵は細かい作業ながら、絵を囲んでみんなで作り上げ楽しめと達成感を感じていただけるよう支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族の方が招待してくださり、「まちなか水族館」へ出かけたり、久慈秋祭りでは地域の方が観覧用にと場所を提供してくださったり、ご協力いただいているまた季節に合わせたドライブもしている	近所の店や、ホームックが人気で希望があればいつでも対応している。病院の帰りにお店を見学して来たり買い物をしてくることもある。町の行事にも参加している。	

岩手県 認知症対応型共同生活介護 グループホームひだまり

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	いつでも買い物ができるようにお金が使えるようにお預かりしている方、ご自分でお財布を持っている方希望や力に応じて支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には電話の使用をしていただいてる、家族への手紙の代筆や家族に向けての荷物を送る当のお手伝いもしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様のちぎり絵や季節を感じられるホールのディスプレイ、植物等で生活間のある空間を提供している、また毎日の清掃に気を配り清潔で快適に暮らしていただけるよう支援している	陽が入り、心地良い温度に保たれた居間には穏やかに、ゆったりと過ごしている入居者、そして入居者の四季に合わせた作品が飾られた壁や棚が、更に暖かく、快適に見えていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個別のお部屋で一人になりリラックスされたり、気の合う お仲間が訪ねてお部屋でお話されたりしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には各利用者様の馴染みのものをお持ちいただくよう声掛けをしている	居室には、整理用タンスが配置されている。それぞれが、小ぢんまりした清潔な居室にしてあった。利用者の馴染みの物を持ってきていただけるよう促している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレと洗面所は車いす対応となっている、手すりなどで自立的な移動を可能としている、安全な移動ができるため、常に見守りの体制でいられるように壁のくりぬきやオープンな空間で見守り援助をしている		